

国立研究開発法人 科学技術振興機構
低炭素社会戦略センター 研究員・フェローの募集について

国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センターは、我が国の経済・社会の持続的発展を伴う科学技術を基盤とした「明るく豊かな低炭素社会」の実現に貢献するため、自然科学と人文・社会科学の知見を用いて 2030-2050 年の望ましい社会の姿を描き、その実現に至る道筋を示すシナリオの策定及び、低炭素社会の実現を加速する新技術創出に資する研究開発からの成果の普及、社会への実装までを見据えた戦略や社会システム設計のための取り組みの検討を目的として、平成 21 年 12 月に設置されました。

(詳しくは <http://www.jst.go.jp/lcs/> をご参照下さい。)

この度、当センターでは低炭素社会づくりに向けた社会シナリオ研究の推進体制の強化を目的として研究員・フェローを募集しますので、以下の要項をご覧のうえご応募下さい。

1. 採用職名及び人数：研究員・フェロー 若干名

2. 業務内容：

- (1) 【研究員】2050 年の「明るく豊かな低炭素社会」は、社会経済構造の変化とともに新たな技術の導入によってエネルギーシステムにも抜本的变化があり、さらに大規模なイノベーションへとつながっていく社会である。定量的技術シナリオ研究の成果を経済・社会シナリオ研究に位置づけて統合的に扱い、あるべき社会システムへ至る道筋と障壁を定量的に分析し対策を研究する。
- (2) 【研究員】2050 年の「明るく豊かな低炭素社会」への道筋の定量的な解析のためには、エネルギーシステムモデルやエネルギー／経済モデルを用いたシミュレーション解析が必要であるが、その際には様々な将来の不確実性が存在する。それらの要因と幅を考慮した上で、2030 年、2050 年の低炭素社会を見越したあるべき経済・社会制度や低炭素化技術評価の手法を研究する。
- (3) 【フェロー】上記(1)(2)の研究業務について、文献調査と整理・データや結果の取りまとめ、計算作業、開発作業補佐等の専門的業務を行う。

3. 応募資格

- (1) 上記2の業務内容に対応可能である方。
- (2) 上記2の業務内容に相応しい分野において、優れた業績があれば、なお可。
- (3) 科学技術に関する素養があること。他分野の経歴の方であっても、当センターでの実務を通じて、関連する見識を身につけ、実績を出しています。経済を専門とする方、工学・自然科学の他分野を専門とする方であっても、ご応募いただけます。
- (4) 自ら研鑽を積み上記2の分野で力を発揮する意欲のある方

4. 勤務形態・勤務時間・勤務地

- (1) 勤務形態：原則として、常勤（任期あり）
完全週休2日制（土・日）、祝日、年末年始、創立記念日、年次休暇、特別休暇
- (2) 勤務時間：選択制・・・上司と調整の上、個人が選択
 - (1) 9：00～17：30
 - (2) 9：30～18：00
- (3) 休憩時間：(1)(2)の場合とも12：00～13：00
- (4) 勤務場所：東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ4階
国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター
- (5) 時間外労働：あり

5. 試用期間

あり（3ヶ月）

6. 処遇(常勤者の場合)

- (1) 給与：年俸制・通勤手当の支給あり（当機構の規定による）。
- (2) 社会保険：健康保険（科学技術健康保険組合）、厚生年金保険、科学技術企業年金基金、雇用保険、労働者災害補償保険加入
- (3) 契約期間：平成30年8月以降（応相談）～平成31年3月31日
採用開始時期については、採用者の事情を考慮して決定する。また雇用契約については年度毎に締結とし、毎年度末の勤務評価により次年度以降の更新可否を決定する。更新の場合でも最大4回。但し、65歳に達する時は、当該事業年度末日をもって雇用契約を終了する。

7. 提出書類：

【研究員】下記（1）～（5）

【フェロー】下記（1）～（5）※但し、（2）&（3）の代わりに（6）も可。（5）の提出は任意。

- (1) 履歴書（任意様式、写真貼付のこと）
 - (2) 実績ないし研究業績リスト
 - * 査読論文、採択審査付英文プロシーディングス、口頭発表・解説論文、著書、その他に分けて記入。冒頭に、各項目別の業績数を一覧表にして記載すること。
 - * 代表的な論文数編を添付すること。
- ※修士の学位の方等、論文の添付が難しい場合は、下記書類（3）や面接にてご自分の研究業績等について、アピールしてください。
- (3) これまでの実績ないし研究内容の概要（A4用紙1枚程度）
 - (4) 当該分野についての抱負（A4用紙1枚程度）
 - (5) 所見を求めうる方2名の氏名、所属、連絡先（フェローの方は任意）
 - (6) 職務経歴書（任意様式）

8. 公募締切日：平成30年7月31日

（候補者が決まり次第、早めに締め切る可能性があります）

9. 募集者の名称

国立研究開発法人科学技術振興機構

10. 問合せ先及び書類提出先：

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3 サイエンスプラザ4階

国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター

企画運営室 荒井 03-6272-9270 saiyo<AT>jst-ics.jp <AT>を@に置き換えてください。

※封筒表に「応募書類在中」と朱書きの上、簡易書留で郵送のこと

11. 選考方法：

書類審査及び面接による。面接実施場所は上記にて実施。なお、交通費は自己負担とする。

12. その他

●本募集要項に記載のない労働条件の詳細については、面接時（書類選考通過者）にご説明します。

●応募の秘密は厳守し、応募書類は採用選考の目的以外には使用いたしません。

●書類審査による第一次選考の後、合否いずれの場合にも連絡を差上げます。

●応募書類はご返却いたしません。

●採用決定し、JST が直接雇用するに当たっては、以下の提出が条件となります。

○身元保証書（保証人2名要※1）

○個人番号※2（扶養家族を含む）

○在留カードのコピー※外国籍の方のみ現在の在留資格、期間の確認のためご提出ください。

●上記に加え、職場における事故等の緊急時対応のため、緊急時連絡票（本人と本人以外の緊急連絡先を記載したもの）もご提出いただきます。

※1 保証人には両親以外の方を少なくとも1名、非同居人（親も可とします）を少なくとも1名含むものとします。

※2 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第2条に定めるもの（マイナンバー）

以 上